

「生田キャンパス・コミュニティー放送」 (カワサキ・ワンセグ)

2011年2月4日

専修大学ネットワーク情報
学部 教授 福富忠和

1. 基本方針

- (1) 自主運営型(学生・市民参加型)のコミュニティー放送を実現(地域活性化と継続運営)
- (2) 首都圏を中心とした若手映像コンテンツ制作者のためのテストベッドを提供
- (3) エリア放送を有効活用するための技術的調査を実施(電波伝搬調査など)
 - ① バラセグなどの技術要件の調査(周波数の有効活用:スプリアス特性調査など)
 - ② バラセグを活用したアプリケーション及び、映像コンテンツWeb連携の調査

2. 具体的なサービスイメージ

- (1) 学生や市民ボランティアの協力で簡単にタイムリーに映像コンテンツを制作、活用する
(例:学生によるコミュニティー放送運用を実現。学生が実際に現地取材して自主制作)
- (2) 毎日異なる(目標)映像を配信し、地域活性化の調査を行う
- (3) 都市型コミュニティー、産学官連携の実現を目指す
- (4) 外国人就学者や外国人観光客数を増加させるための仕組みを実験を通じて検討する
(例:川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムなどに集客)

具体的な連携イメージ

□エリアワンセグを活用した産学官連携スキーム



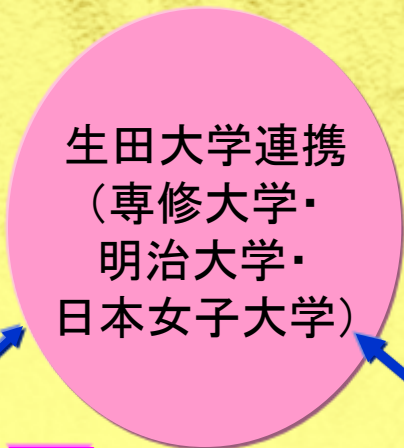
映像PR

ボランティア活動の活性化

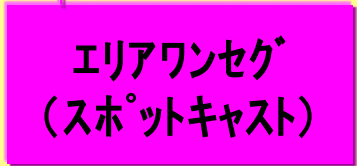


映像PR

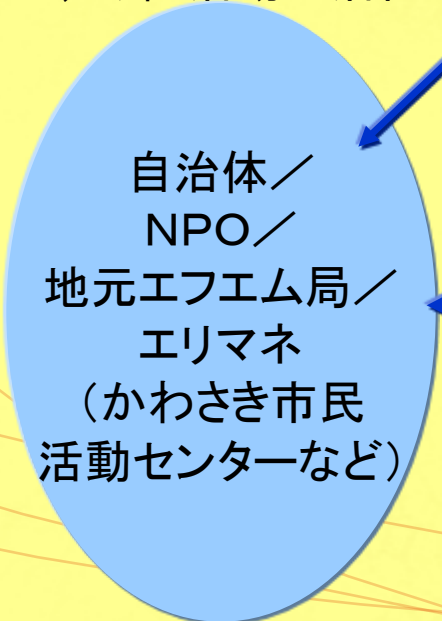
地域活性化



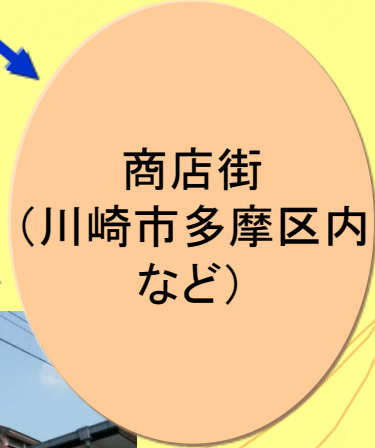
生田大学連携
(専修大学・
明治大学・
日本女子大学)



エリアワンセグ
(スポットキャスト)



自治体／
NPO／
地元エフエム局／
エリマネ
(かわさき市民
活動センターなど)



商店街
(川崎市多摩区内
など)

ボランティア活動の周知
商店街の売上増加



映像素材イメージ

□配信予定の具体的な映像素材

- (1) 川崎市のイメージアップ映像、NPO紹介映像
- (2) 大学の行事、イベント案内、サークル紹介映像
- (3) 地元商店街、地元企業の紹介映像
- (4) 自主投稿型映像(簡易映像コンテンツの制作ツールを利用)
- (5) eスポーツなどのイベント映像(アミューズメント映像配信)
- (6) バリアフリー映像(障がい者支援)
- (7) 外国人就学生、外国人観光客向けのお役立ち情報映像

このほか、多摩区役所との連携により、以下も想定

- (8) 緊急・災害情報との地域配信連携

ワンセグ配信エリア例

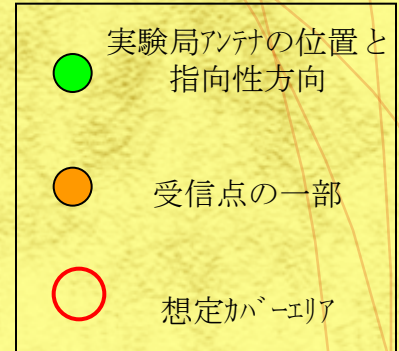
□生田キャンパス内での配信エリア（移動場所例）

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

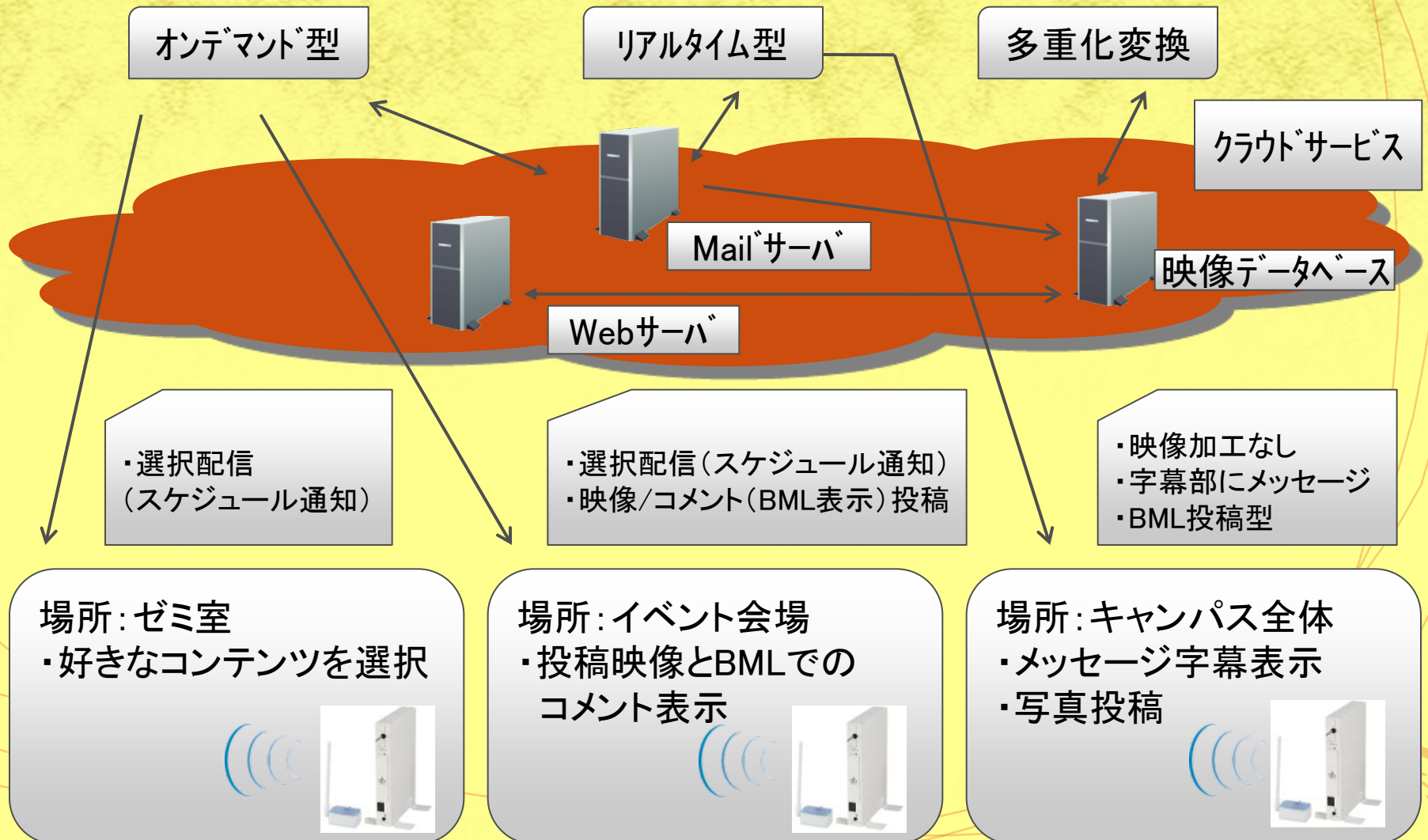
専修大学 生田キャンパス内

(北緯 35° 36' 30" 東経 139° 33' 17")

(海拔高:85メートル、地上高:15メートル)



ワンセグ投稿システム構成図（構想）



活用事例①（映像コンテンツ制作発表会を実施）

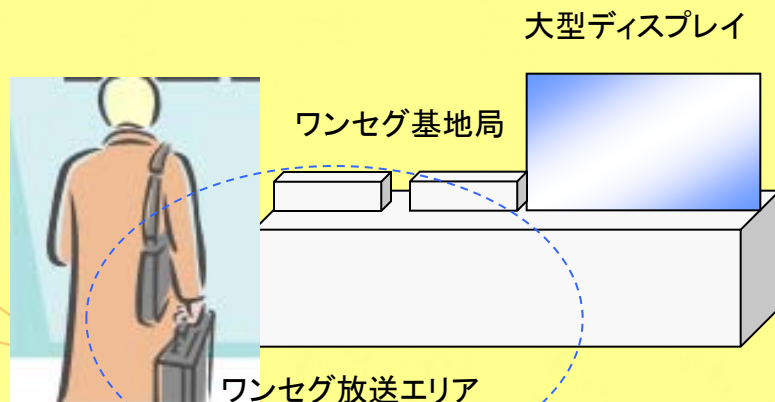
日にち：平成21年1月26日（月）、1月27日（火）

時間：10:00～16:00

場所：登戸駅改札外コンコース

内容

- ・学生が制作した南武線利用促進コンテンツを放映
- ・ディスプレイだけでなく、エリアワンセグを活用してより詳しい情報を配信
- ・放送コンテンツやエリアワンセグ利用に関するアンケートを実施



運営主体：専修大学

協力：JR東日本フロンティアサービス研究所
ジェイアール東日本企画
ソフトバンクテレコム(株)

活用事例②（川崎市イメージアップCMコンテスト2009）

川崎市をPRする映像を制作しワンセグ配信（2009年度）

- 概要** : 川崎市をPRする30秒のCM映像作品を高校生などの学生から募集し、コンテストを開催。総合演習で制作したコンテンツをコンテストに応募し、会場内でワンセグ配信ツール（微弱版）を使用して配信（協力：富士通株式会社）。
- 場所** : ラゾーナ川崎プラザソル（川崎駅前）
- 日時** : 2009年12月12日（土）15時～19時
- 効果** : 自分の制作した映像をワンセグ録画して、喜んで持ち帰った。



活用事例③（映像コンテンツ制作発表会を実施）

コンテンツデザイン総合演習発表会で映像を配信

- 概要** : ネットワーク情報学部2年生のコンテンツデザイン総合演習で制作し、2010年12月12日に開催された「かわさきイメージアップコンテスト2009」（主催：川崎市）に応募した作品とグループ共同制作の川崎市の行政PRコンテンツを配信。
- 場所** : 専修大学 生田キャンパス 10号館4階 展示スペース
- 日時** : 2010年1月18日（月）13時～17時
- 効果** : 自分の制作した映像をワンセグ録画して、喜んで持ち帰った。



ワンセグ受信している様子



活用事例④（川崎市イメージアップCMコンテスト 2010）

川崎市をPRする映像を制作しエリアワンセグ配信（2010年度）

- 概要** : 川崎市をPRする30秒のCM映像作品を高校生などの学生から募集し、コンテストを開催。応用演習で制作したコンテンツをコンテストに応募。会場内ではエリアワンセグ配信ツールを使用して配信（協力：富士通株式会社）。
- 場所** : 中原市民館（中原区）
- 日時** : 2010年12月12日（日）14時～
- 効果** : 自分の制作した映像をワンセグ録画して、喜んで持ち帰った。



活用事例⑤（映像コンテンツ制作発表会を実施）

メディアプロデュース応用演習発表会で学生制作映像を配信

- 概要** : ネットワーク情報学部2年生のメディアプロデュース応用演習で制作した「かわさきイメージアップコンテスト2010」（主催：川崎市）への応募コンテンツとグループ制作の市民団体紹介コンテンツを配信。
- 場所** : 専修大学 生田キャンパス 10号館4階 展示スペース
- 日時** : 2011年1月20日（木）13時～17時
- 効果** : 同階の食堂でも一般の学生が映像を受信、ワンセグ録画した。



会場の様子

活用事例⑥（学生制作によるワンセグ用コンテンツ例）

専修大学学生がキャラクターデザイン、企画、動画制作、声優を担当した川崎市の公共CM作品、現在もワンセグ配信や地域サイネージで活用中



(参考) ワンセグコンテンツ制作の流れ

□ 廉価版ワンセグ用コンテンツ制作の流れについて

学生、ボランティアなどが
制作

大学の教員が一次監修

映像会社が二次監修

エリアワンセグ
(スポットキャスト)

※制作費用を安価に抑えるための
基本方針

- ① 学生が映像制作(教員と連携して演習の一環活動とするなど)
- ② 映像監修は最終的には映像会社を絡めるが、簡易な番組で公共活動向けのコンテンツのコストを下げる
- ③ ワンセグコンテンツに特化した映像品質
- ④ 教育機関、商店街、企業、公共団体の広告を映像中に組み入れる
(広告テロップを映像上に常時流すなど)

(参考) ワンセグを活用した地域活性化施策

「ワンセグ・コミュニティーネットワーク放送システム」

①活用目的

- ・コミュニティー同士のマッチング
- ・コミュニティー活動の広報（より広く市民に知ってもらう）
- ・コミュニティーの自主活性化
（市民自主企画型により一人でも多くの市民に活用してもらう）

②具体的な活用方法

- ・コミュニティー放送の遠隔参加
...情報提供者は屋外や自分のオフィス、自宅から参加
- ・コミュニティー放送のネットワーク化
...普及した高速インフラを利用し他の地域の情報をいち早く入手し、自分の地域を活性化すると共に、共存、共栄（均一化）を図る。
- ・コミュニティー放送の最適化
...市町村単位から町内会程度に縮小し、市民の親しみ易さを得ると同時に、ネットワークを活用した同報も可能とする。